

# はじめての国際学会



## 英語プレゼンを成功させる心構えとテクニック Tips for Improving Your Presentation in English

### No. 1 英語のプレゼンを成功させる3つの「V」

#### 「英語プレゼンを成功させる」ポイント

- 「正しい英語を上手に話す」よりも「聴き手に何を渡したら喜んでくれるだろうか」を考える  
= 聞き手目線がプレゼンを成功に導く。
- 聴き手のメリットを明確にする。
- プレゼンの3つのVで聴き手を動かすプレゼンの準備をする。  
Verbal : 言葉、内容、構成  
Vocal : 声のトーン、抑揚など  
Visual : プレゼンターの表情、姿勢、ジェスチャー、プレゼンスライド

#### 今回のシルバーマンコーチのレクチャー内容

そう。英語の問題ではありません。プレゼンテーションでは「コミュニケーション」が全てです。

プレゼンテーションをする際は、相手へ贈り物をするかのように、聴衆に何を届けたいのかを考えます。「聴衆にとってのメリットは何か」です。これを私たちは「WIIFY (What's in it for you)」と呼んでいます。

プレゼンテーションは人と人とのコミュニケーション。そこで使うツールは、「Verbal (言葉)」、「Vocal (声)」、「Visual (見た目)」、この3つだけです。これらを「3Vs」と呼びます。

Verbalはあなたが聴衆に発する言葉、Vocalは聴衆が聞くあなたの声、そしてVisualは聴衆が目にするもの全てを指します。

まず、「Verbal (言葉)」に焦点をあててみましょう。「KISS (Keep it short and simple)」という言葉をしっかり覚えてください。つまり、短くシンプルにすること。メッセージはわかりやすく、理解しやすく、覚えやすいものであること。メッセージはシンプルにすることが重要です。

「Vocal (声)」は、どのような声、口調で伝えるか。話すスピードや声の強弱を変える、つまり声を多様化することが重要です。

そして「Visual (見た目)」。あなたの目やジェスチャー、スライドといった聴衆が見るものすべてを指します。スライドについては、第5回目のセッションでお話しいたします。

#### 知っておくと便利! 【利益相反があるときのスライドでの示し方】

医学会で研究成果を発表する際には、発表スライドに開示すべき利益相反 (conflict of interest: COI) の有無について示す必要があります。

そこで、No.2以降の英語プレゼンの実践編に入る前に、この利益相反の英語での表記例をご紹介します。

なお、利益相反の基準については、発表される学会の基準を参照ください。

#### Disclosures

- Grant/Research Support : ●●Pharma Co. Limit. [企業名をすべて記載]
- Speaker's Bureau : ●●Pharma Co. Limit. [企業名をすべて記載]
- Consultant : ●●Pharma Inc. [企業名をすべて記載]
- Major Shareholder : ●●Pharma Inc. [企業名をすべて記載]
- Other : ●●Pharma Inc. [企業名をすべて記載]

記載例

※発表者が以下のいずれかに該当する場合は、それらをすべて列挙し企業名を記載します。

種類	内容の説明
Advisor	発表内容に関連のある企業・団体の役員・顧問職で報酬を受けている場合
Stockholder/capital gain	発表内容に関連のある企業の株を所有している場合
Patent royalties	発表内容に関連のある企業から特許権使用料を受けている場合
Honoraria (lecture fee)	発表内容に関連のある企業から講演料を受けている場合
Honoraria (writing fees)	発表内容に関連のある企業から原稿料を受けている場合
Grant/Research support	発表内容に関連のある企業・団体から研究費*をもらっている場合 *受託研究費・奨学寄付金、委託経理金 (科研費のような公的な研究費については開示不要)
Scholarship grants	発表内容に関連のある企業・団体から奨学寄付金を受けている場合
Endowed chair	発表内容に関連のある企業からの寄付講座に所属している場合
Other	発表内容に関連のある企業・団体から、研究とは直接無関係な報酬を受けている場合

今回は以上となります。

次回は、「国際学会で初めてのプレゼン！自分らしさを出す構成とメッセージ」をテーマにお届けします。お楽しみにしてください。